

～～第8450回～～

滝子山

～H30. 6. 3～

焼津駅北口を出て、R150 経由東名静岡 IC 入口に行き、静岡からの参加者と合流して、東名―東富士五湖―中央道―大月 IC 経由で登山口である大鹿川沿いの桜森林公園に到着した。駐車場は狭く 3～4 台分しかない。軽く準備体操をして、林道を歩き始めると、タクシーが 5～6 台上がって来て、登山者が 20 人ほど下車した。見ると我がパーティーとはだいぶ年齢差があって若い。服装もやや派手な感じがして、「都会から？」とすぐ判る。南稜ルート of 登山口を過ぎてすみ沢コースの登山口である道証地蔵までの林道は、道幅も広く、路肩駐車可能なところが数か所あり、「ここまで車で来ればよかった。」と反省した。登山口にはお地蔵様と登山届箱がある。沢に向かってやや下がり丸太橋を渡り、滝の音を聞きながら、沢に沿って新緑の山道を登って行く。滝子山というぐらいですから小さな滝が無数にある。滝があるくらいですから、勾配も大きい。当然、小まめに休憩を取りながら登った。途中、「迂回路」と「難所」コースの分岐があり、約 600 m 先で合流する。難所コースは、沢に沿ったコースで、崩落個所があって危険なので、迂回路を選択した。また、迂回路の間には、曲沢峠に向かう分岐点がある。高度約 1400m を過ぎると、沢を離れ、山林を切り開いた防火帯を歩くようになる。直径 1m ほどの小さな鎮西ヶ池と祠が現れると、あと一息で滝子山頂上となる。山頂では、三ツ峠山の向こうに宝永山のない大きな富士山や丹沢の山々を見ながら、大勢の登山者が、昼食を摂っていた。我々も木陰に入って昼食を摂っていると、南稜コースから「都会から」と思しき人たちが到着し始めた。南稜コースは、距離は短い、急登の連続で所要時間はすみ沢コースとほぼ同じ、「岩場があり、下山には適さない。」と若人たちが教えてくれた。目立った花は、ヒトリシズカとクリンソウでした。ハエなどの虫も飛び始め、そろそろ防虫対策が必要になってきたようだ。帰宅は、往路の逆で、東富士五湖の籠坂付近から御殿場まで渋滞にかかってしまった。

参加者：7 名（静岡北 1、焼津 6）

天候：晴

地図：笹子

コースタイム：焼津 530＝桜森林公園 750-800…道証地蔵 840…滝子山 1120-1200…道証地蔵 1400…桜森林公園 1425＝焼津 1745

記録：焼津支部 伏見